

シルキードライ / サラファイン

商品特長・素材開発について

株式会社ユニクロ
素材開発責任者・生産部部长

西川 雅昭



1

シルキードライ:開発テーマ

「着心地ゼロ」

ユニクロと東レの共同開発により極限まで極細化したマイクロファイバーを使用
極細繊維だから、驚くほどの滑らかな肌触りで、締め付けることなく身体にフィットします
その感触は、言わば「着心地ゼロ」

- ・ 「男性下着にも気持ちよさを」というテーマで開発。
- ・ 従来の男性用下着の常識を覆す、次世代型インナー。
- ・ とにかくなめらか。着ているのを忘れるほどの驚きの触感。



[ドレープ性実験]



[ドレープ性実験]



- ドレープとは、布を垂らしたときにできる“ひだ”のこと
- シルキードライ、ポリエステル100%、綿100%の3種の生地をテーブルにかける
- ドレープ性の高いシルキードライは、“ひだ”が広がらない



シルキードライ：素材秘話

“驚くほどのなめらかさ”と “DRY機能”の両立に成功

- ・「カチオン可染型ポリマー」を使用した、しなやかなマイクロファイバーの極細化に成功
- ・「着心地ゼロ」という、体験したことのない、驚きの触感
- ・なめらかで光沢のある生地は一見蒸れそうなのに、蒸れにくい
- ・ユニクロと東レの戦略的パートナーシップによる、共同開発



サラファイン：開発テーマ

「エアコンインナー」

旭化成の呼吸する繊維「キューブラ」と東レの異形断面ナイロンを複合したハイテク繊維。「キューブラ」が湿気を吸収し、衣服内を常に快適に保ちます。また、異形断面ナイロンとの組み合わせが柔らかい風合いとさらさらの肌触りを実現しました

- ・「“汗”も“冷房の冷え”も嫌。」という女性の声に応えて開発
- ・従来の機能インナーのさらに上に行く、次世代型インナー
- ・汗どころか、湿気の段階から取り除き、衣服内を常に快適に保つ



[湿度比較実験]



[湿度比較実験]

- サラファインと従来品を同じ条件下に置き、湿度の変化を記録
- サラファインはボックス内の湿気を吸うため、湿度が低下する
- 60分で、湿度が91%から57%に低下。従来品は変わらない



日本が誇るハイテク繊維の 複合化に成功

- エアコンの除湿機能にヒントを得て、開発がスタート
- 旭化成の呼吸する繊維「キュブラ」と、東レの「異形断面ナイロン」を複合化。ドライ機能に加えて、除湿機能まで実現
- 生地見本を作り直すこと実に64回。女性の肌へのやさしさも妥協なく追及

